

OCTOBER

酒田だより



お知らせ

10月のミサ

5日 第1日曜
26日 第4日曜

☆新潟教区信徒大会に柿崎信徒会長が出席

します。

☆10/5(日) 話合いの主な議題

- 献堂60周年記念に「60年史」「ミサ・食事会」についてアンケート検討
- 2025年通常聖年の取り組みのひとつ巡礼について[高齢者・病者への特別措置]の具体的な日程など決めます。

☆10/19(日)から毎回、集会祭儀後の30分教会内不用品のリストアップ開始します。

『きよけし とうとし
おとめマリア
汚れなき 神のはは
祈りといなしたまえ』

(カトリック聖歌集より)

10月スケジュール

5日 (日) 年間第27主日
ミサ
話合い

12日 (日) 年間第28主日
集会祭儀

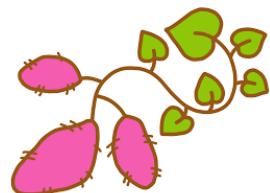
19日 (日) 年間第29主日
集会祭儀

26日 (日) 年間第30主日
ミサ

ミサ・集会祭儀時間
11:30a.m.

10朗読当番

5日	先唱	柿崎圭介	19日	祭壇奉仕	荻原徹
	第1朗読	折坂志津枝		第1朗読	西村浩太郎
	第2朗読	荻原徹		第2朗読	佐藤浩子
12日	祭壇奉仕	西村浩太郎	26日	先唱	柿崎圭介
	第1朗読	今野幸子		第1朗読	今野幸子
	第2朗読	斎藤純子		第2朗読	折坂志津枝



巡礼について

「2025年通常聖年の取り組み」として推奨されているのは

- ① 指定教会へ巡礼
- ② ゆるしの秘跡
- ③ 十字架リレー

酒田教会は巡礼が未実施です。

当初は鶴岡教会と連携して指定教会のどれかに巡礼を予定しておりましたが、高齢者や描写が多い現状を考慮して止めます。これに替ることとして教区免責通達に「高齢者・病者への特別措置」を神父様のご指導のもと酒田教会の他の信徒にも適用することにいたします。(通達添付)



空を見上げ

「空は目にとて日々の糧である」とアメリカの思想家、詩人エマーソン(1803—1882)は言っています。

ゆっくり空を見上げることが月に何回あるのかな！

見慣れた都会の灰色の空、林立するビルの群れに四角に切り取られた真上を見ないと見えなくなってしまった小さな空、それでも「ああ、きょうはとても青いね」「めずらしく星が見える」と、ちょっと足を止めて見上げることができます。けれどもそれはほんの一分で、すぐに、またもと通り視線を落として歩き続けます。

何も予定のない週末に、信貴山と生駒に登り広々とした草原の上に仰向けに寝転がる。空が大きい。真っ青です。白い雲がちぎれて流れてゆく、いい空……でも、時には緩やかに、時には気まぐれに、また時にはすさまじく……でも、絶え間なく形を変えていく空。

人間のように情熱的でまた、優しくそして神様のように無限で偉大な空……。

ふと、この考えが浮かんだのです。

心に純情を秘めた者のみが人の純情に触れることができる。

心の澄んだ人のみが、美しいものを見ることができる。

皆さんはゆっくり空を見上げることが月に何回ありますか？

秋めいた今日このごろ、目と心に秋の空と秋の夕暮れをいっぱいに味わいたいものです。

やはり詩人エマーソンの言うとおり、「空は目にとて日々の糧である！」

“The sky is the daily bread of the eyes！”

(ステファノ・デランジェラ落ち葉「いい人生というために」より)